

沿革		
1995年	H7年	2月2日 復興目的に地元ボランティアと全国の市民団体が協力して設立。
		2月4日 生活支援（安否確認と話し相手・心のケア・掃除・住宅改善）
		10月5日 移送サービス（通院、引越し運搬）
		11月16日 ふれあい移動サロン
1996年	H8年	6月1日 機関紙「ばらボラ」創刊
1998年	H10年	10月1日 会員制の導入
1999年	H11年	4月1日 事務所移転・御影市場旨水館に拠点を移す
2000年	H12年	4月1日より活動利用料金を無料から有料に
		茶話やかカルチャー教室スタート（高齢者の自立支援と居場所づくり）
		閉じこもり防止型生きがい対応型ミニデイサービス 神戸市委託事業（現在：火曜サロン）
2001年	H13年	11月12日 NPO法人格取得
		視覚障がい者のための音声パソコン教室（終了）
2002年	H14年	男性の居場所づくり（囲碁・将棋・観て歩こう会）
2003年	H15年	リサイクルショップオープン
		住民参加型日常生活支援（制度外事業の有償活動）
2005年	H17年	広報誌「東灘ばらボラ」創刊
		子どもの居場所づくり（子どもカルチャー教室）
		指定管理者制度 阪神御影駅前自転車駐輪場管理 神戸市委託事業
		障害のある小学生中学生の学習塾ひまわり（児童福祉法による放課後デイサービス「ひまわり畑」に移行）
		復興住宅3箇所の交流活動と訪問活動（震災ボランティア活動終了）
2006年	H18年	先導的活性化事業 御影市場旨水館の活性化の委託（終了）
		地域の美化キャンペーン
		駐輪場が「子ども110番の家」認定
		まちづくり協議会・阪神御影駅前周辺部会参加（終了）
2007年	H19年	まちの子育て広場「ふらり」オープン（みんなの居場所「ふらりカフェ」に移行）
		子どもカルチャー「そろばん」が神戸珠算協会の教場に認定
		福祉系NPO団体のネットワーク「ひょうごん福祉ネット」結成
2009年	H21年	子育てほっとステーションスタート（終了）
		NPOと行政の協働事業実施（終了）
2010年	H22年	不法駐輪指導業務 神戸市委託事業
		生きがい対応型ミニデイサービス短時間型スタート 神戸市委託事業（現在：木曜サロン）
2011年	H23年	3月11日 東日本大震災発生 3月12日より支援活動スタート（2013年3月で終了）
		9月 助け合いネット利用者集いの場「PartⅡ」スタート
		10月 みんなの居場所「ふらりカフェ」スタート
2013年	H25年	7月1日 放課後デイサービス「ひまわり畑」スタート
2014年	H26年	5月 茶話やかサロン土曜日 スタート
2015年	H27年	1月 ふれあい昼食会 スタート
		7月 子育てひろば スタート
2016年	H28年	1月 認定NPOに認証される
		10月 阪神御影ベイビーカフェ連携事業（終了）
2017年	H29年	4月 神戸市居場所づくり型一般介護予防事業
		10月 住民主体訪問サービス事業
2018年	H30年	9月 子ども食堂スタート
		9月 わいわいひろばスタート